城岳同窓会

猛暑を乗り越え
同窓会のさらなる発展を

一般社団法人　城岳同窓会会長
與那覇　博明（29 期）



日本列島が猛暑に見舞われたこの夏。「沖縄は今や避暑地」が冗談でなく本気で言われるほど日本各地で 40 度以上の酷暑が記録されました。城岳同窓会の会員の皆様には、猛暑の夏を乗り切りお元気でお過ごしのことと思います。一方、沖縄を直撃する台風の被害に遭われた校友の皆さま、阪神・淡路大震災や東日本大震災級の震度 7 の大地震の被害を受けた熊本県など九州にお住いの校友の皆さまには心からお見舞い申し上げます。

城岳同窓会は 1953 年の 9 月、旧制の県立二中と那覇高校の同窓会が合併して設立されました。卒業生は 4 万 8000 人を超え県内外、各分野において目覚しい活躍をされていることは、同窓会の誇りであり、後輩たちにも大きな励みになることと思います。これも二中以来 115 年に及ぶ歴史と伝統そして同窓生、PTA、歴代の教職員、関係者の皆様の努力と支援の賜と感謝しております。

同窓会の目的は「会員相互の親睦交流」「母校及び在校生の支援」「地域社会への貢献」です。

母校支援の中で特筆できるのが「A 氏奨学事業」です。二中 32 期生の故新垣泰一氏が 2007 年と 2017 年に合わせて 1 億 5000 万円を同窓会に寄付、運用益を奨学金として毎年 3 人（県外大学 60 万円　県内 36 万円）に 1 年間支給しており累計の奨学生は 18 期 51 名になります。来春は奨学生を県外 3 人県内 2 人に増やし支援していきたいと思います。また「A 氏奨学事業」として 2018 年以降は、春休みの 3 月に高校 1 年生 2 人をハワイに派遣し、県系人のお宅にホームステイしながら高校の授業に参加する「SAP（ショートステイプログラム）」を実施しています。今年も 2 人を 3 週間派遣し帰国後、有意義な体験をしたと報告してくれました。派遣事業については生徒の安全を確保する必要から今年度は一旦休止し、継続するための環境整備や SAP に代わる新たな事業を検討していきたいと考えています。

同窓会の目的の一つ「会員相互の親睦交流」の柱になるのが毎年 5 月の総会・懇親会です

沖縄ハーバービューホテルで開かれた今年の懇親会は卒業 30 年を迎えた 48 期生が実行委員会を発足させて企画運営し、19 期生の卒業 60 周年（卒業還暦）を祝うなど世代を超えて参加した 517 人が同窓の絆を確かめ交流を深めました。6 月 23 日の慰霊の日には二中健児の塔慰霊祭を城岳公園で開催しました。今年も沖縄戦当時の知事、島田叡氏の母校である兵庫県立兵庫高校（旧制二中）の同窓会「武陽会」の新居理事長他 2 名にも参列いただきました。戦後 81 年、ウクライナやイラン、パレスチナなどで戦闘が止まず、国内では台湾有事を理由に先島を中心に防衛体制が強化される中、教職員、生徒、遺族と共にあらためて沖縄が二度と戦場にならないよう、そして戦後がいつまでも続くよう恒久平和を誓い祈りました。

さて母校、那覇高校は今年春、琉球大学に県内トップの 102 人が合格するなど国公立大学には 167 人が合格、県総体では女子バドミントン・剣道・水泳や男子自転車などの活躍で男女総合 7 位に輝き「文武両道」を実践しています　今年 79 期生 401 人が卒業、城岳同窓会へ仲間入りしました。これまで同様、母校の支援と会員の親睦交流に取り組んでいきたいと思いますので、会員の皆さまのご支援ご協力をお願いいたしますとともにご健勝をお祈りいたします。

校訓「和衷協同」「積極進取」のもと、未来を拓く人材の育成を目指して



沖縄県立那覇高等学校
校長　**眞榮田　義光**（38 期）

城岳同窓会の皆様には、日頃より本校教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私は本年度で校長として 2 年目を迎えました。私自身も那覇高校の卒業生であり、母校で教育に携わることができることを大変光栄に感じるとともに、先輩方が築き上げてこられた伝統を次の世代へ確実に受け継いでいく責任の重さを日々実感しております。

本校では、校訓である「和衷協同」「積極進取」の精神を教育の根幹に据え、生徒一人一人が互いを尊重し、協力しながら主体的に学び、挑戦する力を育む教育活動を推進しています。

本年度は 4 月に第 82 回入学式を挙行し、新たな仲間を迎えました。また、薬物乱用防止講演会や生活安全講話を実施し、薬物の危険性やサイバー犯罪・SNS に関する情報モラルについて学ぶ機会を設けるなど、安全で安心な学校づくりにも取り組んでいます。

部活動では、5 月の沖縄県高等学校総合体育大会において、学校対抗で男女総合第 7 位、男子総合第 10 位、女子総合第 3 位の成績を収めました。女子バドミントン部の団体優勝をはじめ、女子バスケットボール部、剣道部、テニス部、水泳部、自転車競技部など、多くの部が優秀な成績を収め、生徒たちの日頃の努力が実を結びました。

文化活動も大変充実しています。NHK 杯全国高校放送コンテスト沖縄大会では朗読部門で最優秀賞を受賞し、全九州高等学校総合文化祭書道部門では第 3 席を受賞しました。また、第 66 回沖縄県吹奏楽コンクールでは吹奏楽部が金賞を受賞するとともに、県代表として九州吹奏楽コンクールへの出場を決めるなど、文化部も目覚ましい活躍を見せています。

本校では平和教育も重要な教育活動の柱です。今年度は特色ある取組として、全学年で那覇高校校歌に込められた歴史や先人の思いについて学ぶ学習会を実施しました。校歌を通して母校への誇りや平和への願いを改めて共有する貴重な機会となりました。また、6 月には 51 回目の姉妹校交流プログラムとしてアメリカ・ネイサンヘイル高校の生徒を迎え、半世紀を超える交流の歴史の中で、生徒たちは異文化理解と国際感覚を育んでいます。

進路面においても、去る 3 月の卒業生は国公立大学 167 名、そのうち琉球大学 102 名、県内私立大学 79 名、県外私立大学 169 名が合格するなど、優れた成果を収めました。これらは、生徒一人一人の努力はもとより、教職員の熱心な指導、保護者の皆様のご支援、そして城岳同窓会の皆様が長年にわたり母校を支えてくださっていることの賜物であり、深く感謝申し上げます。

那覇高校は長い歴史の中で多くの優れた人材を社会へ送り出し、その伝統は卒業生の皆様が各界で築き上げてこられた信頼と実績によって支えられています。私も卒業生の一人として、その歴史と伝統を誇りに思うとともに、現役生がその志を受け継ぎ、新たな歴史を築いていけるよう、教職員一丸となって教育活動の充実に努めてまいります。

今後とも校訓「和衷協同」「積極進取」の精神を大切にし、文武両道を実践するとともに、平和を尊び、国際社会で活躍できる人材の育成に力を尽くしてまいります。

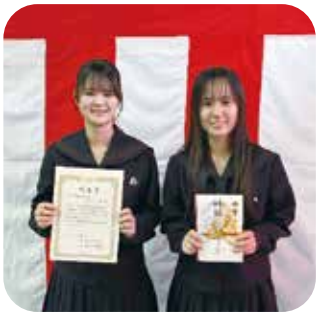
結びに、城岳同窓会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも母校・那覇高等学校への変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

❖ 城岳賞

2025 年も多くの部が素晴らしい活躍をしました。その中で顕著な実績をおさめた女子テニス部へ城岳賞を 2026 年 2 月 27 日（金）に全校生徒が参加した、第 79 回卒業式予行演習の場で贈呈しました。



比嘉正彦副会長から城岳賞を贈呈



続いて副賞を贈呈

❖A 氏奨学金 第 18 期生

城岳同窓会は「学業・人物ともに優秀で経済的理由で、学業継続が困難な者に対して奨学金を給付する事により、地域社会や同窓会へ貢献できる優秀な人材を育成する。」事を目的に奨学生を募集する。平成 20 年に A 氏奨学金制度がスタートして本年で 18 年目を迎え、その間 51 名が希望する大学へ進学し、海外へ留学する等多くの奨学生が優秀な学生・社会人として県内外で活躍しています。本年卒業した 79 期生の中から 2 名を決定しました。

A 氏奨学金 第 18 期生	【県外進学 1 名】高嶺　希綾（のあ）	大阪大学 法学部 法学科
	【県内進学 1 名】玉寄　琳（りん）	琉球大学 人文社会学部 国際法政学科

奨学金支給額

県外：月額　50,000 円× 12 月（年額：600,000 円）

県内：月額　30,000 円× 12 月（年額：360,000 円）



與那覇博明会長から保護者へ A 氏奨学金事業を詳しく説明する



左から高嶺希綾さん、比嘉正彦副会長、與那覇博明会長、玉寄琳さん。後方はそれぞれの保護者です

❖ 城岳講座（2025 年 10 月 29 日）

「先輩から後輩へのメッセージ」という趣旨で第 22 回城岳講座を開催しました。今年はＰＴＡの協力を得て、講師 21 名を招くことが出来ました。1、2 年生は各学級で、3 年生は体育館で行いました。



❖ 第 79 回 卒業式・同窓会入会式

2025 年度(令和 7 年度)第 79 回卒業式が 2026 年 3 月 1 日那覇高校体育館に於いて、厳粛に挙行されました。



79 期生 401 名が堂々と整列



眞榮田校長先生から一人ひとりへ卒業証書を贈呈



卒業式終了後に城岳同窓会入会式



学年幹事の二人から同窓会長に対して力強く入会が宣誓された

くし眼科
院長 久志雅和
〒902-0075 那覇市国場1161-4
TEL098-996-1194
FAX098-996-1094
E-mail:kushi.masakazu@agate.plala.or.jp

病院長 医学博士
日本医療マネジメント学会県支部長
心血管インターベンション治療学会指導医
日本内科学会専門医・日本循環器学会専門医
大城 康一
医療法人おもと会 大浜第一病院
〒900-0005 沖縄県那覇市天久1000番地
Tel: 098-866-5171 (代) Fax: 098-864-1874
E-mail: k_ooshiro@ns.omotokai.jp
http://www.omotokai.or.jp/ohama1/
OMOTOKAI RECRUIT SITE

❖ 第６期海外ショートステイ・プログラム（6th SAP）

今年も Iolani School と新たに Kailua High School の 2 校が Host School となり、Mr. and Mrs. Shaun Shimizu と Mr. and Mrs. Brandon Ogata、昨年同様に Mr. and Mrs. William Good Speed 宅へ2人の生徒と引率の末吉りえ理事がお世話になりました。

派遣生徒（1 年生）＝新垣琴弓（Arakaki Kotomi）、田場小晴（Taba Koharu）

- Host School ＝ Iolani School…2026 年 2 月 23 日～ 27 日
  Kailua High School…… 2026 年 3 月　2 日～　6 日
- Host Family ＝ Mr. and Mrs. Shaun Shimizu (Arakaki Kotomi)
- Host Family ＝ Mr. and Mrs. Brandon Ogata (Taba Koharu)
- Mr. Mrs. William Good Speed…… 2026 年 3 月 2 日～ 3 月 14 日
- Activities…… 2026 年 3 月 7 日～ 3 月 14 日

◆ Kailua High School



正面入り口


豊かな自然に囲まれたキャンパス

◆ Iolani School にて


Iolani の仲間たちと


右奥の聖田京子先生（９期生）から留学の心得について学ぶ

◆ Host Family と一緒に


HUOA の新年会でタンチャメーを舞る


ハワイ大学アリーナにて

◆ Host Family と一緒に


ハワイ留学の強力なサポートメンバーです


後方中央の Kiriko（54 期）さんファミリーと一緒に


W.G.S さん宅で Iolani、Kailua やハワイ大学の関係者等総勢 33 名でのアロハ・パーティー

今年もハワイ派遣前にOIS（オキナワインターナショナルスクール）で英語生活に慣れる為に6日間の体験入学をし、帰国後すぐに報告に伺いました。


英語でハワイでの留学体験を報告する


左は奥間政吾校長（54 期）、右が知念正人理事長（31 期）

❖ 入学式

2026 年 4 月 7 日に第 82 回入学式が、那覇高等学校体育館で行われました。新入生が吹奏楽部の演奏と保護者の手拍子に迎えられて堂々と入場。


第 82 期生 400 人が緊張した面持ちで整列


眞榮田校長先生より入学が許可された

❖ キックオフ（2026 年1月 20 日）

2026 年度の定時社員総会・懇親会は「ちむぐくるで結ぶ城岳の和～笑顔とキズナが咲き開く～」のキャッチコピーで仲本興平氏を実行委員長として 48 期生が一致団結して取り組みました。



❖ 定時社員総会（2026 年 5 月 23 日）：沖縄ハーバービューホテル



與那覇博明氏による会長挨拶


報告事項６件、決議事項１件を慎重審議



新島郁子副会長により閉会を宣言

❖ 懇親会



仲本興平実行委員長による開会宣言



湧川昌秀氏による乾杯！


19 期生代表の岸本秀夫氏へ卒業 60 周年記念品を贈呈



19 期生 66 人が元気に集結


「二中校歌」を堂々と謳う高良健二氏（二中 35 期）


続いて那覇高校歌の大合唱



次期実行委員長の小淵敦樹（49 期）氏による決意表明


総会・懇親会を見事成功させた総務の大城エリカ氏による閉会の挨拶

❖ 慰霊祭

（2026 年 6 月 23 日）

「鉄の暴風」が吹き荒れ、島全体が焦土と化した沖縄戦では、那覇高校の前身である県立第二中学校においても 187 名の学徒と 9 名の引率教諭が尊い命を散らしていった。戦後 81 年目の慰霊の日に、先輩方の冥福を祈り、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、平和を祈念し城岳公園で慰霊祭を挙行した。



今年はインターアクトクラブの生徒たちが戦禍の中避難した「ガマ」から採集したガラス片で作成した「琴」を遺族へ差し上げた



名幸俊海護国寺名誉住職と共に読経する新居大典武陽会理事長



與那覇博明会長による「追悼の辞」



生徒代表による「誓いの言葉」



赤嶺一氏による「遺族代表挨拶」



参列者 142 人によるご焼香



わが人生と第二の故郷ドイツ

デュッセルドルフ日本クラブ
デュッセルドルフ日本商工会議所
事務総長代行・ドイツ沖縄県人会長
内間ゆかり（32 期）

【ドイツ留学と自己紹介】

「ドイツ」というと、多くの方がメルセデスベンツや BMW の高級車や、バッハやベートーベンをはじめとするクラッシク音楽を連想されることでしょう。ところが、当時の私は専ら家族社会学、特に女性の社会的地位の改善と確立にしか興味がなく、研究の進んでいる欧米、ドイツで学びたいと留学しました。日本人留学生の 9 割以上は裕福な音大生でしたので、専攻の違う私の友人はドイツ人など外国の学生がほとんどでした。

1989 年 11 月 9 日のベルリンの壁の崩壊から翌年、10 月 3 日のドイツ統一への大きな歴史の出来事の真っただ中で、東ドイツに行ったり、逐次ニュースや雑誌から情報を収集したりと敏感に対応出来たことは大変貴重な経験だと思いました。

【ドイツでの最初の就職】

大学を卒業して、私が最初に入社したのはハンブルグ近郊の日系製造会社でした。日本人社長と現地ドイツ人マネージャーとのミーティングの通訳やプレゼンテーション、週・月報、財務報告書の作成、品質管理や環境マネージメントなどの業務を担当していました。しかし、就職して 10 年以上経過した頃、勤務していた会社が統合することになり統合先の会社の人事部と経理部の部長の面接を受けました。その際「あなたはどんな資格を持っているのか」と問われ、「大学卒の資格、それも社会学」と答えると、「それだけでは、席が確保できない」と言われ、適当な仕事を振られる結果となりました。ドイツではパン屋や自動車修理等にマイスターという資格制度が導入されています。会社の求人案内では、種々の資格や経験が要求されます。例えば、経理部のマネージャー募集では、大学で簿記や会計、IT、税法や会社法等を学び、在学中に一定期間の職業訓練を受け資格を得るか、幾つもの会社で経験を積んだことが雇用の条件に挙げられます。

【デュッセルドルフでの再就職】

上記の苦い経験から、会社に在籍しながら、なんとか公認会計士の課程を修了いたしました。このお陰で、デュッセルドルフ日本クラブと日本商工会議所の二つの組織の会計・財務・税務、人事・総務全般の事務総長代行という役職が得られ今に至っています。

デュッセルドルフが州都になっている NRW 州はルール地方にあり 1 千万人以上の人口を擁するロンドン・パリと並ぶ欧州最大の経済圏です。欧州市場へのスムーズなアクセス、豊かな生活環境と熟練した人材、低い生活コスト等、日本人と日本企業のビジネスと生活環境にとって最適なインフラが整えられています。全ドイツの日系企業の 40％強が NRW 州に拠点を置いており私の勤める日本商工会議所では、欧州の経済・政治・法律・税制に関する情報提供やセミナーを開催し求人・求職支援など日系企業をサポートしています。一方、日本クラブでは日本人が安心して暮らせるような、防犯・医療・法律情報を提供したり、会員向けのバスツアーやソフトボール大会を開催するなど会員間の親睦と互助、日独市民の文化および習慣の相互理解と友好の促進に努めています。

日本を紹介する欧州最大のイベント「日本デー」の開催にあたっては、18 年前から組織委員の一人として参加し、日独の調整や運営改善に取り組みました。また、日本の文化を紹介するため太鼓、お琴、日舞、武道の舞台演出やいけばな、着付け、折り紙等の日本紹介テントの運営、総括を担当して参りました。準備は 1 年前から取り掛かり、開催当日は、早朝の荷物の搬出、テント設営から夜の片づけと舞台出演、そして、花火までと 16 時間に及ぶ業務となりますが、クタクタに疲れていても、日本文化を楽しむ大勢の来場者を見るとヤッターと嬉しく思いました（本年度来場者数：70 万人）。



第23回日本デー文化･市民交流祭 5月23日

【ドイツでの子育て】

ドイツ人の夫と娘 2 人の 4 人家族です。

私の勤務する会社では、ドイツ人女性の殆どが、産休が終わると決まって 3 年、第 2 子がその間に誕生すれば 5 年から 6 年育児休暇を取るのは当たり前でした。育児休暇の 2 年間、国から就業時の手取り金の 70％のお金が支給されるからです。ところが、私はこの長期の育児休暇を取らず仕事に戻りました。その間、子供の面倒は、有給休暇を利用（年間有給休暇日数は 30 日）、ターゲスムター（預け親）、ベビーシッターを雇ってどうにか乗り切りました。

当時は田舎住まいでしたので、休日は家族で森や湖に出かけたり隣家の畑の野菜や果物の栽培や収穫を手伝ったりとゆったりとした家族の時間を楽しみました。子どもが小学生から中学生の頃は、夏季休暇には必ず 2、3 週間、隣国や海辺の町を訪れたり、キャンプをしたりしました。また、日本に帰国する際は、少なくとも 1 カ月の休暇を取り、観光地の訪問や沖縄の自然や海を満喫させるように工夫し過ごしました。さらに、長女を高校の時、鳴門高校に 1 年間留学、長女、次女共に沖縄県のジュニアスタディーに参加させました。

長女は、スタンフォード大学で論文『沖縄における米軍基地の抑止力 普天間の事例 (The Deterrent Value of U.S. Military Bases in Okinawa: The Case of Futenma) 』を提出し東アジア研究のマスター課程を修了しました。次女は 7 月 29 日英国のキングスカレッジ (King ‘s College London) を卒業。『インフルエンザの抗体と予防』に関する論文で生物医学免疫学の博士号を取得しました。長女も次女も高校卒業後、自立して大学の奨学金に応募し、修士・博士課程を修了しました。

【送る言葉】

夢を持って海外に飛び出した私から、「夢を持つことは、あなたの行動の原動力になります。どんなに困難な目標でも夢に向かって一歩踏み出すと、夢はあなたの人生の扉を開いてくれます」の言葉を城岳同窓会の皆様に送らせていただきます。



次女　未来(みき)の卒業式で



動物の心臓病を救う医療

日本どうぶつ先進医療研究所株式会社
代表取締役
一般社団法人 MUI 動物医科学研究所
代表理事
上地正実（37 期）

37 期卒業の上地正実です。このたび、私自身のこれまでと近況をご報告する機会をいただきました。

高校時代はバレーボール部に 3 年間所属していました。お世辞にも強いチームではありませんでした。それでも部活動を終えたあと、部員みんなで“なんみー”（波の上）の海岸に原付に乗って（その当時原付は禁止されていましたが…）集まり、バレーボールのこと、将来の夢や恋バナに花を咲かせた時間は、今も鮮やかに心に残っています。あの海辺での語らいこそ、私にとっての青春そのもので、実に楽しく貴重な時間でした。

高校卒業後は神奈川県の麻布大学獣医学部に進学し、獣医学を学びました。獣医師免許を取得したのち大学院に進み、博士号を取得しました。大学院修了後は渡米し、ボストン郊外にあるハーバード大学医学部附属のプライメイトリサーチセンターで研究員として、2 年半ほど心臓病の研究に従事しました。この時は、今では考えられないほどブラックで、休みは退職前に 2 日ほどボストンの街を観光するためにもらえただけで、ほぼ無休、睡眠時間 3 ～ 4 時間の毎日を過ごしていました。すごく大変でしたが、そこで得られたものは大きかったと思います。今となっては AI が出てきたので、その苦労はもっと少なくて済むのかもしれません。今の若い人がうらやましく思います。

帰国後は青森の北里大学附属動物病院で講師を務め、犬や猫はもちろん、牛、馬、さらには小鳥、鳩やトナカイまで幅広い診療を担当しました。この時期に犬猫の循環器科を任されたことがきっかけとなり、心臓外科の研究に本格的に取り組むようになりました。

北里大学に 9 年間勤務したのち日本大学に移り、内科学教授として心臓外科をさらに発展させ、臨床応用できる形へと確立しました。そして日本大学で 8 年間勤めたのち、日本どうぶつ先進医療研究所株式会社を設立し、JASMINE どうぶつ循環器病センターを開所しました。おかげさまで国内全国はもちろんのこと、海外からも数多くの犬猫の心臓病の症例が来院するようになり、イギリス、アメリカ、フランス、シンガポール、台湾、オーストラリア、タイなど海外にも招かれて手術を行っています。

これまで 3000 件近くの心臓手術を行なった症例をしっかりと記録に残し、学術論文にするため、琉球ネットワークサービスの上原啓司社長（39 期卒業）と共に電子カルテの開発にも取り組んでいます。

また、一般社団法人 MUI 動物医科学研究所を設立し、獣医師や動物看護師の学術活動の支援、そして沖縄のヤンバルクイナやケナガネズミなどの野生動物保護活動の支援も行っています。今後も、沖縄の豊かな自然の保護と発展を両立させることに、少しでも貢献できるよう精進してまいります。



JMP ジェイ・エム・ピー株式会社
Japan Merchandise & Partners Co.,Ltd.
鋳物製品・機械加工・海外調達ならなんでもご相談ください
多種多様な製品を複数の海外協力工場と連携しOEM・ODM 製造を行っています。
〒900-0002 沖縄県那覇市曙2-26-6 タカダ曙マンション209
TEL 098-955-0053 / FAX 098-993-7865
https://jmp.okinawa/ info@jmp.okinawa
WEB SITE

前島歯科医院
診療内容 一般歯科・小児歯科・矯正歯科・在宅訪問歯科
院長 金城竹治（18 期）
Kinjo Takeharu
〒901–0152 那覇市小禄 546-2
TEL 098-857-3710 FAX 098-857-8457



ヌチグスイ（命の薬）情報！

国立劇場おきなわ 常務理事

金城陽一（30 期）

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団常務理事の金城陽一と申します。1977 年 3 月卒業の 30 期で、昨年 6 月に就任しました。理事長は沖縄県副知事で、常務理事は劇場の日常業務を統括する現場責任者です。設置者である独立行政法人日本芸術文化振興会（国）から委託を受け、本財団が運営しています。

東京で学生時代を過ごしました。「異郷の地」で暮らしていたせいでしょうか、寮の先輩の誘いで観た琉球舞踊公演で、三線や紅型衣裳の踊りに「ナダ（涙）グルグルー」する経験をしました。沖縄県庁入庁後、芸能の世界に入り、舞踊は沖縄タイムス伝統芸能選考会の最高賞を受賞し、佐藤太圭子師から師範免許を授与されました。組踊は、眞境名由康組踊会会長の眞境名正憲師に師事、2022 年に国指定重要無形文化財「組踊」の総合認定保持者となりました。

さて、国立劇場は全国にいくつあると思いますか？歌舞伎などを上演する国立劇場本館、能狂言を上演する国立能楽堂、オペラ・バレエ＆ダンス、演劇を上演する新国立劇場が東京に、文楽を上演する国立文楽劇場が大阪にあります。東京、大阪以外には沖縄にしかありません。

72 年、本土復帰の日に「組踊」は「わが国にとって歴史上または芸術上価値の高いもの」として、能楽、歌舞伎、文楽と同じ、国の重要無形文化財に指定されました。これを機に国立劇場誘致運動が始まり、04 年 1 月、「組踊等の沖縄の伝統芸能を公開する施設」として「国立劇場おきなわ」が開場します。09 年には、「琉球舞踊」も重要無形文化財に指定され、名実ともに琉球芸能の拠点となりました。組踊や舞踊以外にも、沖縄芝居や地域の民俗芸能、民謡や古典音楽公演の他、海外の芸能公演も行っています。日本の南の玄関として「伝統文化を通じたアジア・太平洋の地域との交流」という大きな役割も担っているからです。また組踊の伝承者養成研修や伝統芸能に関する調査研究、資料収集や一般向けに収蔵資料の公開等も行っています。

芸能は、沖縄の結婚披露宴や親族の生年祝等の行事、島々の祭りに欠かせないものです。今日、社会の変化により、芸能が身近な生活の中から急速に消えつつあり、子どもたちが伝統芸能に触れる機会を創ることが重要となっています。国立劇場おきなわとしても、沖縄県と連携し、子どもたちが無料で鑑賞できる組踊や舞踊、沖縄芝居の鑑賞教室や、学校団体向けの公演に注力しています。昨年 9 月に地元の浦添高校の全校生徒約千名が、午前午後に分かれて、組踊鑑賞教室「二童敵討」を観劇しました。解説や字幕もあり理解しやすいと好評でした。多くの学校でこうした機会を活用して欲しいと願っています。

一方、入場者数のうち県外客が 7.5%、外国人客が 4.5% も訪れるようになりました。観劇目的で県外からいらっしゃるリピーターもいるほどです。ウチナーンチュン負キテェー　ナイビランドー！！

結びに、城岳同窓会の皆様へ耳よりな情報です。年会費 1,050 円の「友の会」会員になれば、入場料金は 2 割引きとなります！

マルケーティナーヤ（たまには）、
劇場ンカイ メンソーチ（いらっしゃって）
ヌチグスイ（命の薬）シミソーランナー！（しませんか）
私が劇場の玄関ウティ 待チョーイビンドー！



那覇高 23 期生



23 期会



2030 年は那覇高創立 120 周年

23 期生は卒業 60 周年



編集後記

朝夕、少し涼しさを感じる９月。景気回復という感覚は全くないが国の税収は増えているとの事。給料は増えず物価高は続き、幸福感を感じることは少々難しい・・・友人達と話すこともしばしば。明るい話題を探すのに一苦労する今日この頃だが、那覇高校の後輩たちの活躍は私の清涼剤でもある。今年の会報には二中健児の慰霊祭でインターアクトクラブの皆さんが手作りのしおりを配布した様子が掲載された。しおりの素材はガマから拾い集めたガラス片。これに関してさまざまなお考えの方々がいらっしゃることも理解しているが、私は純粋に感謝している。何を視るか、どう動くか。後輩から学んだように思うからだ。他にも会報には世界で活躍する諸先輩を紹介している。広がる生き方、繋がる生き方。先輩後輩問わず那覇高校生に受け継がれるこの精神を会報で読み続けたいと思う。同窓会員の皆様、今後とも同窓会活動にご協力、ご支援を宜しくお願いします。

城岳同窓会の終身会費について

一般社団法人城岳同窓会は会員相互の親睦を図るとともに、那覇高等学校の発展に寄与すること及び地域社会に貢献する事を目的としております。また、本会の経費は会員の拠出金、寄用金、事業収益金及びその他の収入をもって充ております。

さて、会員の拠出金は、年会費 1,000 円または、終身会費 5,000 円によって賄われております。年会費を一括で 5,000 円を納入した場合は、終身会費と見なし、以後年会費は徴収致しません。伝統校の誇りと自信に満ちた校風の継承と発展の為、同窓生一人ひとりの積極的なかかわりとご芳志をお願い致します。

振込先 琉球銀行樋川支店 店番号 314 口座番号 普通 338301

口座名義人 一般社団法人城岳同窓会 会長 與那覇 博明（ヨナハヒロアキ）
ご芳名の前に卒業期をご記入ください。

問合わせ 一般社団法人城岳同窓会 事務局 與儀 幸英
〒 900-0014 沖縄県那覇市松尾 1 丁目 21 番 53 号　TEL（FAX）: 098-867-2525

城岳同窓会館のご案内

「母校に同窓会館を」との声が同窓生の間から叫ばれ、同窓生各位のご尽力により平成 8 年に実現しました。
会館は同窓会員の親睦の場です。会員のみなさん、どうぞご利用下さい。

- 2 階は二中・那覇高の歴史を後世に語り継ぐ資料展示室及び事務室
- 3 階は会員のクラス会、会議、趣味の集まりなどに利用でき、収容人員は 50 人です。なお、使用料金（光熱費）は 1 団体：1 時間 1,000 円です。
- 4 階は自学自習室として、3 年生が活用しています。

編集発行　一般社団法人 城岳同窓会
〒 900-0014 沖縄県那覇市松尾 1-21-53　電話・FAX 098-867-2525
事務局 E-mail:yogi@jogaku.or.jp
城岳同窓会ホームページ http://jogaku.or.jp